

日本の伝統芸能をつくばで堪能。

つくば

能

能

「安宅」

狂言

「舟渡婿」

「安宅」は源義経の登場する物語の代表的作品。主役は武蔵坊弁慶となる。歌舞伎の「勧進帳」の原曲でもあり、日本のその後の古典芸能でも数多く取り上げられている。

人間国宝・野村万作、
野村萬斎親子出演！



森 常好



山中一馬



野村 萬斎



野村 万作



平成 30 年

12 月 15 日 (土)

14:00 開演
(13:30 開場)

ノバホール
つくば市吾妻1-10-1

一般ネット・電話予約 10/7(日)10時～

窓口販売 10/8(月・祝)9時～

全席指定(税込)

S席 5,000円
(財団友の会 4,500円)

A席 4,000円
(財団友の会 3,600円)

チケット取り扱い

ノバホール
つくばカピオ
(公財)つくば文化振興財団
財団ホームページ

029-852-5881

029-851-2886

029-856-7007

www.tcf.or.jp

※車椅子席をご希望のお客様は、財団(029-856-7007)までご連絡ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※友の会価格で4枚までお求めいただけます。
※都合により、演目・出演者等が変更になる場合がございます。
※車でお越しのお客様は最寄りの有料駐車場をご利用ください。

つくば

能

解説

狂言「舟渡婿」

シテ／船頭・舅
アド／婿
小アド／姑
後見

野村 万作
飯田 豪
深田 博治
中村 修一

（休憩十五分）

能「安宅」

シテ／武蔵坊弁慶
ツレ／山伏
ツレ／山伏
ツレ／山伏
ツレ／山伏
ツレ／山伏
子方／源義経
ワキ／富樫某
間狂言／強力
間狂言／太刀持

山中 一馬
柴山 暁
酒井 亮
庄司 友芳
柴田 健一
雨宮 悠大
政木 哲司
井上 あかり
森 常好
野村 萬斎
内藤 連

附祝言

後見 櫻間 金記
地頭 高橋 忍

小鼓 小野寺 竜一
大鼓 幸 信吾
幸 弘和

舟渡婿（ふなわたしむこ）

賀入りのため舅宅へ向かう賀、道中渡し船に乗るが、賀の持参する酒樽に目をつけた大髭の船頭は、呑みたい一心で一杯振る舞うよう所望する。しかし婿に断られると漕ぐのを止めてしまったたり、また逆に横柄に漕ぎ急いだりとの手この手で酒をねだる。賀は肝を冷やし止むなく吞ませたが、酒も残り少なくなり軽くなった酒樽を持って舅宅へ到着する。応対に出た姑に土産の樽肴を渡し舅の帰宅を待っていると、そこへ現れたのは、先ほどの船頭…。

船頭の棹さばきにあわせて、舟が流れたり激しく揺られたりする両者の息の合った演技が見どころです。

安宅（あたか）

平家討伐に大功績をあげながら、兄・頼朝と不仲となった源義経は、弁慶他家臣とともに山伏に身を変えて都を逃れ、藤原秀衡を頼り奥州平泉へと旅を続けていた。頼朝は、新しい関所をもうけ偽山伏の一行を捕らえるよう命令を下す。加賀国安宅の関もその一つで、富樫の某という者が関守を務めていた。そこに義経一行がさしかかる。弁慶はこの関所を通るため、東大寺再建の寄付を募る山伏の一行だと偽る。不審に思う富樫が、「東大寺の勸進聖（かんじんひじり）なら、勸進帳をもってはいるはず」と迫ると、弁慶は持っている巻物を本物の勸進帳のように朗々と読み上げる。その気迫に、富樫は一端通行を許すが、強力（ごうりき）に変装した義経を見咎める。弁慶はとっさの機転で、「お前のために疑われた」と義経を責め、金剛杖で打ち据え、その気迫に押された富樫は通行を許す。関を通った一行の前に、富樫が追ってきて、非礼を詫び酒宴となる。弁慶は富樫の罵か、と疑いながら、座興に延年の舞を舞い、心を許さずに暇を告げ一向は陸奥へ落ち延びていくのだった。

◆主な出演者の紹介◆

山中 一馬
シテ方金春流・故十九世櫻間金太郎に師事。師に許され、師の本名の「龍馬」に因み、名を「一馬」とする。二十一歳「小袖曾我」で初シテ。以来「石橋」「乱」「道成寺」「安宅」「隅田川」「翁」「望月」等を披く。重要無形文化財総合指定。茨城県牛久市在住。

森 常好
ワキ方宝生流・故森茂好（人間国宝）の長男。父に師事。重要無形文化財総合指定。

野村 万作
狂言方と泉流・故六世野村万蔵（人間国宝）の次男。父に師事。人間国宝。無形文化財総合指定。

野村 萬斎
狂言方と泉流・野村万作の長男。重要無形文化財総合指定。

小野寺 竜一
笛方一噌流・宗家一噌庸二に師事。

幸 信吾
小鼓方幸流・故宗家幸正影の養嗣子。重要無形文化財総合指定。

柿原 弘和
大鼓方高安流・柿原崇志（人間国宝）の長男。父に師事。重要無形文化財総合指定。



関連企画 能体験ワークショップ

参加無料

日時：11/24(土) ①14:00～ ②17:00～
※2回とも同じ内容です。約90分程度
会場：つくばカピオ4階 和室
講師：山中一馬
参加費：無料(公演チケットご購入の方が対象)
定員：各回20名(先着順) ※未就学児不可
受付日時：10/7(日) 10:00～
申込方法：(公財)つくば文化振興財団にお電話ください。
TEL 029-856-7007

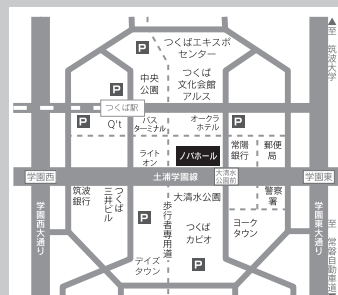
チケット発売日

- 一般ネット・電話予約：
10月7日(日)10:00～
- 窓口販売：
10月8日(月・祝) 9:00～

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※都合により、演目・出演者等が変更になる場合がございます。
※車椅子席をご希望のお客様は、財団(029-856-7007)までご連絡ください。

チケット取り扱い

- ノバホール 029-852-5881
- つくばカピオ 029-851-2886
- (公財)つくば文化振興財団 029-856-7007
- 財団ホームページ www.tcf.or.jp



【ノバホール】〒305-0031 つくば市吾妻 1-10-1
※車で越えしのお客様は、最寄りの有料駐車場をご利用ください。